

摂食嚥下ケア研修 開催要綱

趣旨 近年、介護施設での誤嚥・窒息による事故死を巡って、訴訟問題に発展し、介護施設が損害賠償請求を命じられる事案が少なくありません。介護施設においては、慢性的な嚥下機能の低下がみられる利用者の増加に伴い、さらなる誤嚥予防への取り組みが求められています。

本研修は、誤嚥予防につながる摂食嚥下ケアの新たな知識を習得し、各施設のケアの質向上、利用者の生活の質向上を目的に開催します。また、口腔衛生管理加算や経口維持加算の算定に向けた、歯科医師および多職種との連携について学びます。

1. 歯科医師など専門職の視点で、摂食嚥下ケアを学びます。

咀嚼や口腔環境の視点から、接触嚥下を考え、口腔ケアを学びます。また、言語聴覚士による嚥下機能訓練と摂食ケアを学ぶことで、摂食嚥下ケアにおける新たな視点を養います。

2. 多職種との連携により、ケアの質向上を目指します。

歯科医師や歯科衛生士など摂食嚥下に携わる多職種との連携を学ぶことで、ケアの質の向上や加算算定につなげることができます。

3. 他の施設の取り組みを知ることができます。

誤嚥を予防するために、様々な取り組みを行っている介護施設の実践報告から、日々のケアに役立つ情報を得ることができます。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

高齢者・障がい者施設等に勤務する介護職員、看護師、栄養士、セラピスト、その他職員 等

配信期間

令和6年11月11日（月）～12月27日（金）

申込期間

令和6年 9月10日（火）～10月 8日（火）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

受講決定

令和6年10月15日（火）までにご連絡します。

時間	研修科目	研修内容
約 90 分	<p>講義 1 「嚥下のメカニズムと口腔ケアの重要性」</p>	<p>誤嚥を予防するためには、嚥下のプロセスを理解することが重要です。ここでは、高齢期における摂食嚥下のメカニズムを学び、誤嚥が起こる仕組みを理解します。また、誤嚥予防における口腔環境の重要性を理解し、口腔ケアの方法を学びます。</p>
約 60 分	<p>講義 2 「嚥下機能訓練の方法と食事ケア」</p>	<p>食事の際には、飲み込みやすい姿勢にするための環境整備や食形態などへの配慮が求められます。また、日々の機能維持訓練も誤嚥予防には欠かせません。</p> <p>ここでは、言語聴覚士による嚥下機能訓練の方法や食事ケアのポイントを学びます。</p>
約 90 分	<p>講義 3 「摂食嚥下ケアにおける多職種連携について」</p>	<p>経口摂取を維持するために求められる多職種連携の重要性やその方法について学びます。</p> <p>また、摂食嚥下ケアにおいて、先進的な活動や意欲的な取り組みを行っている施設から、その実践内容について報告いただきます。</p>